



## 校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑳

令和2年10月30日（金）

### 「努力」

学校再開後6月5日（金）にスタートした、この「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」も早いもので今日で20号になりました。宗高・宗中のみなさんの様々な意見等を<sup>かんあん</sup>勘案して今月から「毎金ふかしんメッセージ」を2週に1回（月に2回）にしましたが、この「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」は引き続き毎週金曜日に配信していきます。「毎金ふかしんメッセージ」を2週に1回（月に2回）にした分、今まで「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」をあまり読んでなかったみなさんにもぜひ！！読んでほしいと思っています。

注）勘案・・・いろいろな事情等を考え合わせること

さて、今週火曜日27日に、福岡ソフトバンクホークスが3年ぶりのリーグ優勝を決めました。この大事な試合に先発し、今シーズン最高の素晴らしいピッチングで6回を無失点に抑え、優勝を決める試合勝利の立役者となったのが、プロ18年目39歳の和田<sup>つよし</sup>毅投手でした。

39歳のプロ野球選手は「松坂世代」とも言われますが、今やこの「松坂世代」94名のうち現役選手は、この和田投手を含め5名しか残っていません。（うち2人は今シーズン限りで引退することを表明しています。）

和田投手は、高校時代はチームで2、3番手の投手だったそうですが、早稲田大学に進学後にめきめき力をつけて、当時の福岡ダイエーホークスに入団し、プロ野球の世界に入りました。プロに入ってから新人王、最優秀選手（MVP）、2度の最多勝や最高勝率の数々のタイトルも獲得し、通算138勝71敗（令和2年10月27日現在）の成績をあげています。アメリカ大リーグにも行きましたが、現役18年間に投手生命を左右しかねない、<sup>き</sup>利き腕である左肩の故障や左肘の3回もの手術をしています。

そんな投手生命の危機を乗り越え、39歳の大ベテラン和田投手が、チームの優勝がかかった非常に大事な試合に先発し、なおかつ今シーズン最高のピッチングができたのは、彼が「自分の頭で考え」、チームメートから尊敬されるほどストイックな「努力」を続けてきているからに他なりません。

ん。だからこそ、監督はこの大事な試合の先発を39歳の大ベテラン和田投手に託し、その意味をチームメートも当然に理解し、チームが一丸となって戦ったのだと思います。

この日の試合の（以前福岡ソフトバンクホークスのコーチで和田投手のことをよく知る）解説者が、この日の和田投手について「努力は必ず報われるとは限らないけれど、結果を出した人は必ず努力している。このことを和田投手の姿がはっきり物語っています。それくらい和田投手は若い時から、自分の頭でしっかり考え、厳しい努力（練習・トレーニング）をずっと続けてきているのです。その見事な答が今日のピッチングですね。」と語っていました。

たしかに、この解説者が言うように「努力」は必ずしも報われるとは言えないのかもしれませんが。しかし、「努力する（した）」ということが大切なのであって、「努力する（した）」ことにこそ一番大きな意味があり、そこから大切な何かを私たちは手にするのではないのでしょうか。それが私たちの確かな「力」と揺るがぬ「自信」になると思うのです。そして、物事の大小にかかわらず、「努力」なしには、どんな結果も出すことはできないのだということを、この日の和田投手の姿から改めて考えることができました。

最後に和田投手の著書「だから僕は練習する 天才たちに近づくための挑戦」（ダイヤモンド社）の一部を紹介します。

「もともと僕は『どこにでもいる普通の野球少年』だった。

同級生たちと比べて、飛び抜けて野球がうまかったわけではない。

体格に恵まれていたわけでもない。

誰もが認める豪速球や変化球があったわけでもない。

天才的なセンスや嗅覚きゅうかくがあるわけでもない。

注目の高校球児だったわけでもない。

・・・(中略)・・・

なぜ、あんな『ふつうの野球少年』が、プロ野球少年になれたのだろうか？

なぜ、才能あふ溢れる仲間たちよりも、長く現役を続けられているのだろうか？

なぜ、平凡なプレーヤーであるはずの僕が、彼ら（「松坂世代」注：深瀬）のような『天才』のレベルに近づけたのだろうか？

『練習』一。

いまのところ、これが僕の仮説だ。

・・・(中略)・・・

僕はいま、『考えて練習すること』を心がけている。

丁寧に考えて、考えて、考え抜いたことを、淡々とやり続けている。

・・・(中略)・・・

だからこそ、いまこのタイミングで僕は、『練習』を通じて自分を成長させること、『考えながら練習すること』の大切さについて振り返ってみたいと思う。」

(「だから僕は練習する 天才たちに近づくための挑戦」 P. 2～P. 7 から抜粋)

和田投手のこの著書は、和田投手から福岡県内のすべての中学校と高校に寄贈されました。本校図書館にも2冊入っています。ここで紹介した部分以外にも、私たちに<sup>しき</sup>とって示唆に富む言葉がたくさんあります。是非一度手に取って読んでみてほしいと思います。

来週は、もう11月。いよいよ冬の到来です。高校3年生は言うまでもなく、新型コロナウイルスやインフルエンザ、風邪など体調を崩すことがないように、ひとり一人、体調管理（うがい、手洗い、換気の励行！）を徹底していきましょう！

校長 深瀬 信也